

## 令和4年第2回（6月）瀬戸内市議会定例会

### 行政報告

本日は、令和4年第2回（6月）瀬戸内市議会定例会を招集しましたところ、ご多用の中ご出席をいただき、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症については、全国的には感染者数は減少傾向ではありますが、本市においては一部施設でクラスターが発生する等、日々感染者が発生しています。また、新たなオミクロン株の派生型も発生しており、今後はこの影響による感染拡大も懸念されています。

新型コロナワクチンの3回目接種については、5月23日現在60歳以上の高齢者の人口に対する接種率は86.2%、全体では58.9%となっており、若い世代の3回目の接種率が低くなっています。このような中、3回目接種から5か月以上経過した60歳以上の高齢者、18歳以上の基礎疾患を有する方等に4回目の追加接種を行うことになり、5月23日から接種券を送付しています。できるだけ多くの方にワクチンを接種していただけるよう、今後もワクチンの効果や安全性について、ホームページや広報紙等により、周知を図っていきます。

ロシアによる武力攻撃で故郷を追われたウクライナの人々への人道的な

支援のため、2月定例会で可決いただいた予算により、UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）に1千万円の寄附を行いました。

これをきっかけとして5月2日、UNHCRの進める世界的な「難民を支える自治体ネットワーク」に賛同する署名を行いました。これは自治体による支援や行動の表明を通じて、紛争や迫害により故郷を追われた人々への連帯を高めることを目指したキャンペーンで、日本の自治体で5番目となります。

この署名を契機として、市民の方にも難民支援や多文化共生の大切さを伝えることにより、関係団体の協力も得ながら瀬戸内市独自の国際化を目指していきます。

それでは、主な取組についてご報告させていただきます。

#### ○ 防災情報伝達システムについて

整備を進めていた防災情報伝達システムは、4月から本格運用を開始しています。

戸別受信装置貸与の通信費免除対象について「75歳以上の高齢者のみの世帯で、世帯全員が携帯電話、スマートフォン、タブレット端末等を所持しない世帯」としていましたが、対象範囲を「75歳以上の高齢者のみの世帯員」に拡大し、より多くの方にご利用いただけるよう見直しを行っています。

また、防災アプリの登録数については、5月末時点で3千件を超えており、引き続き多くの皆さまに登録していただけるよう普及啓発に努めていきます。

これから迎える梅雨や台風シーズンでは、整備した防災情報伝達システムを有効に活用し、市民の皆さまに迅速かつ適切に避難情報等を配信します。

#### ○ 庁舎再編計画について

庁舎再編計画のうち、本庁舎西棟改修工事は令和5年2月、長船支所新築工事は令和5年1月の完成を目指し進めています。

福祉部、こども・健康部及び長船支所の移転は、窓口の繁忙期となる年度末等を考慮し、令和5年5月を予定しています。

また、ゆめトピア長船の改修及び、長船町公民館の移転については、令和6年度の開館に向け準備を進めています。

#### ○ ウクライナ避難民への支援等について

日本国内に逃れて来るウクライナの人々への支援として、民間賃貸住宅の借上げによる住まいの提供、国際交流推進協議会や国際交流員による相談対応、ハローワーク、ジョブスポットとの連携による就労支援、生活用品等の物的支援や一時金の支給等を予定しており、関連予算を計上していま

す。今後、出入国在留管理庁からの依頼に対応できるよう、関係機関と連携しながら避難民等の受入れに向けて準備していきます。

#### ○ 国土利用計画の策定について

昨年度から作業を進めている国土利用計画法に基づく市町村計画の策定につきましては、4月22日に第1回の瀬戸内市国土利用計画審議会を開催し、本市の土地利用における現状や課題を共有しました。

また、国土利用計画の必要性や本市の今後のまちづくりについて市民の皆さんからご意見をお聞きするため、5月上旬から16歳以上の市民3,000人を対象にしたアンケートを実施し、6月下旬からは市内14地域でタウンミーティングの開催も予定しています。

#### ○ パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の導入について

市民一人ひとりがお互いの違いや多様性を認め合い、個性を尊重しあうことができる、みんなの思いやりがあふれる人権尊重のまちづくりを目指して、パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度を10月から導入する予定です。現在は、制度導入のために各部局と調整し準備を進めています。

パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度とは、法的に婚姻が認められない性的少数者のカップル及びその2人に子どもや親等がいる場合、婚姻や家族関係に相当する関係を公的に証明する制度で、この制度により行

政や民間サービスの一部を受けることができるものです。

開始に当たっては、正しい知識と認識が深まるよう啓発や制度の周知を行っていきます。

#### ○ 新火葬場整備について

新火葬場の建築工事について、設計施工を一括で請け負うデザインビルド事業者を公募型プロポーザル方式により選定した結果、優先交渉権者は瀬戸内市新火葬場（仮称）整備事業梶岡・丸川・康愛・宮本異業種特定建設工事共同企業体に決定しました。

今後は、仮契約等の準備が整い次第、契約議案を提出する予定としています。

#### ○ 子育て世帯生活支援特別給付金について

新型コロナウイルス感染症が長期化する中、国の緊急対策の一環として、食費等の物価高騰に直面する低所得の子育て世帯に対し、児童1人当たり5万円の子育て世帯生活支援特別給付金を支給します。

できるだけ早期に支給できるよう、今議会中に関連予算を計上します。

#### ○ 子宮頸がんワクチンのキャッチアップ接種について

子宮頸がん（HPV（ヒトパピローマウイルス））ワクチンは、平成25

年に予防接種法上の定期接種となった後、接種後の痛みや運動障害などの多様な症状の報告が相次いだことから、これまで積極的な接種勧奨が差し控えられてきましたが、昨年11月の専門家の会議において、安全性について特段の懸念が認められないことが再確認され、今年度から接種勧奨が再開されています。

これに併せて、積極的な接種勧奨が差し控えられていた期間に接種機会を逃した方等を対象に、あらためて接種の機会を提供することとしましたので、関連予算を計上しています。

今後、対象となる方へ個別に案内文書を送付し、子宮頸がんワクチンの有効性やリスク等を十分にご理解いただいた上で、多くの方に接種していただけるよう、接種の推進に取り組んでいきます。

#### ○ JR 駅前等整備事業の進捗状況について

長船駅につきましては、整備を進めていた駐輪場の一部を供用開始し、令和4年度末の完成に向け、現在、道路拡幅工事を行っており、ロータリー工事等を順次進めます。

大富駅も同様に、令和4年度末の完成に向け、スロープのシェルター、駐輪場の工事を順次進めます。

邑久駅につきましては、令和5年度末の完成に向け、現在、駐車場の整備を進めています。なお、瀬戸内市商工会の移転先について、民有地の確保に

目処が立ったことから、現在、商工会が用地買収の手続きを進めています。

引き続き、商工会と事業計画の調整を行い、事業の進捗を図ります。

#### ○第2宮下産業団地の進捗状況について

第2宮下産業団地の区域内にある用地につきましては、関係地権者の皆さまのご協力により、5月末までに全ての用地買収を完了しました。引き続き、造成工事に着手する予定としており、誘致企業であるアイリスオーヤマ株式会社と協議を進めながら早期完成を目指します。

#### ○岡山デスティネーションキャンペーンについて

7月から9月にかけて、岡山県とJRが主体となって全国に向けて誘客プロモーションを行う「岡山デスティネーションキャンペーン」が実施されます。本市では、7月から8月にかけて瀬戸内市立美術館の企画展や街角ミュージゼ牛窓文化館での展示を含む広域的なアートイベントを誘致します。さらに8月から9月にかけては備前長船刀剣博物館において『太刀 無銘一文字（山鳥毛）』を公開する特別展を開催し、期間中の観光誘客を図ります。また、これらのイベントにあわせて、周辺地域の周遊を促進する事業を実施し、地域消費の拡大を図ります。

#### ○歴史文化に関する財団について

歴史文化に関する財団につきましては、現在、寒風陶芸の里の体制整備、機能強化の準備を進めているところです。今後、公益財団法人寒風陶芸の里の名称変更をはじめとした定款変更等を進め、併せて岡山県の公益認定等委員会による公益事業内容変更の承認を受け、歴史文化資源の保存・活用に関する取組を進める予定です。

○ 備前長船刀剣博物館について

備前長船刀剣博物館では、4月2日からテーマ展「地域の奉納刀－真庭・瀬戸内編－」展を開催し、市内の社寺等の奉納刀を通して、刀剣に込められた地域の人々の信仰や神仏への願いなどを紹介しています。また、昨年度に制作した山鳥毛デジタルコンテンツの利用を開始したことにより、山鳥毛の未公開期間においても、入館者が山鳥毛の魅力の一端を知ることができるようになっています。

○ 瀬戸内市立美術館について

瀬戸内市立美術館では、4月12日から5月8日まで企画展「村山正則遺作展－画家を夢見た医師－」を開催し、医師ならではの鋭い観察眼や感性の中で生み出された作品を通して、来館者にモノの見方などを感じていただきました。

また、5月17日からは特別展「無言館－戦没画学生魂のメッセージ」を



開催し、若くして戦争の犠牲となった画学生の作品を通して、平和の尊さを考える機会を提供しています。

#### ○ 消防団活動について

消防団は、地域の消防防災体制の中核的役割を果たす存在であり、今年度から報酬の増額等、処遇改善を図り団員の確保に努めています。このような中、株式会社岡山村田製作所が、従業員の消防団活動を積極的に支援しているとして、総務省消防庁から「消防団協力事業所」に認定され、4月11日に消防本部において、表示証交付式を行いました。

また、4月24日に開催された第9回瀬戸内市消防操法大会では、長浜分団が日頃の練習の成果を発揮し、9回連続の優勝を飾り、7月に開催される県大会への出場を決めました。

消防本部としては、今後も消防団員の確保と消防団の防災力の向上に努めていきます。

さて、今議会で提案申し上げます案件は、条例3件、補正予算3件、その他11件、計17件です。

よろしくご審議をいただき、適切にご決定をいただきますようお願い申し上げます。市長部局の報告を終わらせていただきます。

令和4年6月6日

瀬戸内市長 武久 顕也